

▽発信元・お問い合わせ先はこちら  
「人材ビジネスの発展を通じてヒトの成長を追及する」  
株式会社ヒューマンビジネス・コンサルティング  
TEL : 03-6909-8644/0120-973-644  
E mail:info@hb-consulting.jp

## 旧クリスタル、特別清算開始決定 負債額 73 億 5300 万円

旧グッドウィル・グループの中核企業だったラディアホールディングス・プレミア(東京・港)が5月21日に東京地裁から特別清算の開始決定を受けていたことが1日、分かった。信用調査会社の帝国データバンクによると、2009年6月末時点の負債額は約73億5300万円。前身のクリスタルは大手メーカーに安価な労働力を提供することで一時は業務請負の最大手に上り詰めた。しかしコンプライアンス(法令順守)の不備などでユーザーの信頼を失い、経営破たんに至った。

ラディアホールディングス・プレミアは1974年に京都市内で設立された「京都商会」が母体。業務請負・人材派遣に進出し、90年6月にクリスタルに社名変更した。

同社が急成長したのは2000年代前半。主力事業は電機・自動車大手から「組み立て」「梱包」といった作業を受託する「業務請負」だ。

世界的な好景気と円安傾向が続いた当時、日本の製造業は「工場の国内回帰」を掲げて、輸出を急拡大させた。グループ全体で30万人以上の登録者を抱えるクリスタルは人手不足に悩むメーカーにとって、安価な労働力を提供してくれる「便利な企業」だった。

請負最大手に浮上したクリスタルの06年3月期のグループ売上高は5911億円に達した。

しかし急成長の裏でコンプライアンス上の問題も指摘された。06年秋には、実態は労働者派遣なのに業務請負を装う「偽装請負」を繰り返していたとして、グループの中核企業が大阪労働局から事業停止命令を受けた。06年

末には人材派遣・請負や介護事業を手掛けるグッドウィル・グループに買収された。

しかし偽装請負が社会問題化したこともあってグッドウィルの買収後も製造業などからの受注は回復せず、業績は低迷していた。グッドウィルの支援に乗り出した米投資ファンドのサーベラスなどは製造業派遣からの撤退を決め、今年4月の株主総会でラディアホールディングス・プレミアの解散を決議していた。

国内の人材サービス業界は景気低迷や鳩山政権による派遣労働の規制強化の影響で、冬の時代を迎えつつある。請負と人材派遣を合わせた人材サービスの市場規模は08年度には9兆4884億円に拡大したが、08年秋のリーマン・ショックを契機に、製造業を中心に需要が急減。09年度の人材サービスの市場規模は08年度比26%減の7兆181億円まで縮小した。

仕事があるときだけ雇用契約を結ぶ「登録型派遣」や「製造業派遣」を原則禁止する労働者派遣法改正案が今国会で成立すれば、11年度の市場規模は6兆3000億円前後まで縮小するとの予測もある。人材サービス各社は生き残りをかけ、外部委託(アウトソーシング)事業への業態転換や海外事業の拡大を急いでいる。

(2010年6月1日 日本経済新聞)